

(1) 東京(日本・東経 135 度)とリオデジャネイロ(ブラジル・西経 45 度)の時差を求めなさい。

$$135 + 45 = 180 \quad \leftarrow \text{①まず、経度差を求める}$$

$$180 \div 15 = 12 \quad \leftarrow \text{②そこから「時差」を求める} \quad \diamond \text{時差は経度 } 15 \text{ 度で } 1 \text{ 時間なので、} 15 \text{ でわり算する。}$$

◇「東経と西経」の時:2つの地点の経度の「差」は、たし算で出すよ!なぜなのかは世界地図を見てぜひ考えてみて(∇^v)

(12 時間)

また、現地時間で 8 月 10 日の午後 5 時に始まる試合を日本のテレビで生中継する場合、試合開始は日本時間で何日の何時からになりますか。

◇リオデジャネイロ(この問題の基準地点)から見て東京は「東」なので、時計の針を 12 時間進める!

→ このあたりの考え方がよくわからない人は、↓こちらのプリントでぜひ練習してね(∩^o^)

「時差」のプリント(http://futaba-juku.sakura.ne.jp/tmaterials/ss/ge_time_diff.shtml)

(8 月 11 日の午前 5 時)

(2) 前回の夏季オリンピック・パラリンピックは、イギリスのロンドンで行われました。東京とリオデジャネイロの時差と、東京とロンドンの時差はどちらが大きいですか。

ロンドンは「本初子午線」が通っている場所なので、経度は 0 度!

$$(135 - 0 = 135) \quad 135 \div 15 = 9 \quad \leftarrow \text{これが東京とロンドンの時差。9 時間。}$$

↑この式は無くてもいいね。東京とロンドンの経度の差・135 度を 15 でわり算すれば OK!

(東京とリオデジャネイロの時差)

(3) 次のオリンピック・パラリンピックは、2018 年に平昌(ピョンチャン・韓国)で行われる冬季オリンピック・パラリンピックです。

東京と平昌は時差がありません。このことから、リオデジャネイロやロンドンで行われる試合の生中継を日本のテレビで見る場合と、平昌で行われる試合の生中継を日本のテレビで見る場合では、どんな違いがありますか。次の語をすべて用いて述べなさい。

時差 大きい 真夜中

例) リオデジャネイロやロンドンは日本との時差が大きいため、試合の生中継を日本のテレビで見る場合、始まる時間が真夜中になったりすることもあるが、平昌は日本との時差がないので、平昌で試合が始まる時間と同じ時間に日本のテレビで生中継を見ることができる。

また、現地での試合に出場する日本人選手にとっては、リオデジャネイロ・ロンドンの場合と平昌の場合とでどんな違いがありますか。次の語をすべて用いて述べなさい。

体調 調整 時差ボケ

例) リオデジャネイロやロンドンは日本との時差が大きいため、現地での試合に出場する日本人選手たちは時差ボケで実力を発揮できない可能性もあるが、平昌は日本との時差がないので、日本にいる時と同じ時間帯で生活ができ、リオデジャネイロやロンドンの場合と比べると体調の調整が楽にできると考えられる。